

10月5日 移動例会 (静岡県三島市・駿東郡長泉町周辺)

12時茅ヶ崎市民文化会館前から大型バスにて出発、参加人員は会員奥方を含む36人
最初の立ち寄り先は、三島市の楽寿園で13時50分に到着しました。

「国の天然記念物及び名勝」に指定 **楽寿園 見学**

- 森に囲まれた広さ約72,768㎡(22,050坪)の自然豊かな公園で、明治維新で活躍された小松宮彰仁親王が明治23年に別邸として造営され、昭和27年7月15日から三島市が管理運営しています。

湧水した小浜池から見る楽寿館



約1時間の散策後

入口横で記念撮影



池亀さんが此処の湧水を美味しそうに飲んでいた。 カメヘン、カメヘンと言って！

楽寿館の中は撮影禁止です。京間風の高床式数寄屋造りの建物で、ケタに長い北山杉を使用した廊下が続き、現在でいうと人間国宝にあたる6人の書画が襖に書かれており装飾絵画は静岡県の文化財に指定されています。学芸員の説明に皆、聞き入っておりました。

第1目的 公益財団法人 **米山梅吉記念館 見学**

米山梅吉記念館大会議室にて集合写真



堀川会長 クラブの気持ちをスマイル



係員の説明が20分ほどあり、第一展示室は梅吉の生い立ちから学問の目覚め、生涯の歩みを各種資料により展示してあります。左側写真の左部屋には第二展示室があり創立から近年に至るロータリーの歩み、米山奨学会資料、米山家所蔵品を展示しています。



米山梅吉が使用していた机・椅子・金庫
1階のロビーに展示してあります



参加した全員で輪になって手を繋ぎまして、両手を挙げての号令で皆が挙げ、降ろしてそして右手を挙げてでは、自分の左手は上げなくてもよいが手を繋いでいるから殆どの会員が動作出来ませんでした。考えてみよう……。



この施設の他に、館外に米山文庫があり
1階の子供図書館は床が国産の杉が使用され、素足で歩けます。



米山梅吉・妻はるの記念碑が地元のクラブの尽力により建立されています。
「いさかひもなき漫々の青田かな」と碑に綴られております
館より北側徒歩3分の場所

米山梅吉	1868～1946	78歳永眠
はる	1878～1955	81歳永眠

富士の湧き水によって うなぎが旨い 「うな繁」にて

先ずはあいさつ 堀川会長（ウンチクを語る）



会長・副会長・幹事の揃い踏み
・またまた、米山梅吉について一言
没してから偶像ではないが、功績を讃え
られ黄泉の国で梅吉はどう思っている
のか、ふと考える。
・前川副会長の挨拶、そして乾杯発生後、
神尾リーダーより、食事のルール（飲酒
は各テーブル毎に自前で割り勘）説明
・うなぎは臭みがなく、やはり富士山の
伏流水で暫く生きたせいでしょうか
前回のうなぎと同じくらいうまかった。
それにしても亀ちゃんは食通なことが
皆に解ったと思います。ありがとう。

第一テーブルは ヘベレケ大将の面々



第二テーブル うな重たべても良いのかな？



第三テーブル 神尾リーダー うなぎはまだか！



第四テーブル 挨拶はそのくらいでいいのに。

